

団体名：特定非営利活動法人 子どもセンター帆希

事業・活動名：居場所を失った子どもたちの緊急避難場所「子どもシェルター」

使途&助成金額：広告宣伝費 300,000円

子どもたちにとって、社会という大海の中で休む舟でありたい。

子どもたちを優しく後押しする風でありたい。

子どもたちが前へ進むための帆でありたい。

子どもたちに希望を与えたい。

子どもたちに誇り(ほまれ)を持ってもらいたい。

このような思いから、子どもシェルターを運営するために立ち上げられた団体です。

平成26年12月より、「子どもシェルターはるつげ荘」を運営しています。しかし、高校や大学などに在籍していた子どもの多くが、退所先が見つからず学校に通学することを諦めなければならないという事態になりました。「学校という大切な居場所を守りたい。」その思いから自立援助ホーム「かぜまちの家」が令和3年11月1日に開設されました。

「かぜまちの家」の入所対象者は主に高校生、大学生(概ね15~19歳)で、定員は6名の家庭的な雰囲気の一軒家です。子どもたちのプライバシーを守るため、一人一部屋の個室となっています。玄関のシューズクローゼットは一人一棚、個室には全てクローゼットが設置され、荷物の管理も自分で自由にできるようになっています。また、全居室インターネット接続ができるようになっており、オンライン授業にも対応できるようになっています。

子どもたちがくつろげるように、自然に職員ともふれあうことができるように、日常生活の動線や階段の位置などが工夫されています。

「かぜまちの家」が通学をしながら自立を目指す子どもたちのあたたかな家庭となっていくことでしょう。

今回の助成金は、

虐待や暴力等から緊急避難を望む子が、安心安全な居場所である子どもシェルターの存在を知り、相談・利用しやすくなるよう、助成金を活用してスマートフォン向けホームページ及びSNS用の案内ページが作成されました。

福祉委員 藤原あゆみ

